[**ウクライナ日本語教師会 Всеукраїнське товариство викладачів японської мови**](https://www.facebook.com/UkurainaNihongoKyoushikai/?__cft__%5b0%5d=AZXZcVPrFAnhZNkwfklavn1og9-W4oJIV8EgA2bgsnNlEFGkKTUPz0DwXJIRJUxOehIXYMBx7hST58ron4FjgPjDmXlwA8FL_50S1W8dX3cofFx6lCzRURt-3quFiioPTeppRxngfKYYYf4UpfXlRde8VInh4YLjM0jcXbcXbUavdA&__tn__=-UC%2CP-R)

ウクライナの日本語を専門とする大学生の留学について

急激かつ大量にウクライナの日本語専攻の大学生を日本に招聘することは、ウクライナの日本語教育を破壊します。

　ウクライナ日本語教師会は、日本の皆様がロシアによるウクライナ全土侵略戦争で被災した人たちとウクライナに、多大なご支援をなされていることに深く感謝いたします。

　さて、4月からウクライナの大学では遠隔授業を通常通りに再開しております。また9月からは新学年になり、新入生も迎えます。しかし国家予算が危機的な状態で、各大学では教師の人員削減が予想されています。

　このような中、2月24日以降、多くの大学生が個人的に様々な日本側の援助プログラムにより訪日し、日本語学校や大学校で学習を行っています。また現在も日本側は、さらに多くのプログラムによって日本語を学ぶウクライナの学生たちを急激かつ大量に日本へ招聘しようとしています。

　これはウクライナの大学の承認を経ずに、学生個人と日本側教育機関や団体が行っているケースが多く、ウクライナの教育現場の実情を反映していません。また既成事実のように私たちに留学の計画や予定者の追認を求めるケースもあります。私たちはウクライナの日本語教育の存続に不安を感じ、困惑しています。私たちからは日本側が渡航費、生活費、学費を丸抱えする「ダンピング」や若い人材の「ヘッドハンティング」に等しい形で無秩序に学生たちを招聘しているようにさえ見えます。大学は国からの予算だけではなく学費収入によって経営が成り立っています。各大学の学習者が減れば、学習グループが減り、教職員の削減、残っている学生たちも日本語を学習できなくなる可能性もあります。これでは日本側の善意が30年以上にわたって私たちが努力して培ってきたウクライナの日本語教育を破壊することになります。

両国の協力関係が正しく継続するために、私たちは次のことを日本の皆様にお願いします。

1. 学生の留学プログラムは、ウクライナの各大学によって条件が承認され、ウクライナ各大学の日本語教師たちも参加する明確な選考基準によって日本側とウクライナ側が共に行いましょう。

2. 決められた短期研修期間が終われば、ウクライナの大学に復帰させるために学生を必ず帰国させてください。学生を日本の大学の正規学生として編入したり、他のプログラムや就職などによる滞在延長をさせないでください。

3. ウクライナの発展や戦災の復興はウクライナ国内で行われるものです。明らかな事例によって確認された被災学生や教師への支援、ウクライナで日本語を学習する大学生たちへの授業料補助、教師への教育・学術的支援などに支援の方向を変更してください。

私たちは、日本との友好関係が今後も続くことを願っています。

2022年6月10日 ウクライナ日本語教師会